

業務部速報

発信者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴ヶ岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2018年 6月 12日

申24号「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化について」に関する申し入れ

団体交渉⑤

(17項) エリアセンターと関連する職場におけるダイヤの授受の行い方を明らかにすること。

(回答) 現行どおりの取り扱いとなる。

…今まで通り。磐越西線(23,400)は技セ内で調整を行う。

(18項) 今施策により、パートナー会社のエリア変更があるのか、明確にすること。業務の移管に伴い、問題が発生しないように調整すること。

(回答) パートナー会社のエリア変更はない。

…今まで通り。

【保線部門の技術支援体制の再整理に関して】

(19項) 保線部門の技術支援体制の再整理に関して、考え方と体制・具体的業務内容を明らかにすること。また、技術継承・技能伝承が出来る体制・業務運営とすること。

(回答) 日々の業務における技術支援については代表保線技術センターにて行い、専門性の高い技術支援について構造技術センターで行うこととなる。

【主な議論】

〈代表保技セ、支社設備部線路課、日本電路技術の業務の区分けとして〉

・NSGでは、技術教育として、ロングレール理論の教育などに特化して行う。代表保技セや支社では日々の業務、処置の仕方等、支援を行う。もっと高度な技術、如何しても直らない分岐器等は本社の構造技術センターのメンバーに来てもらっててもらい、技術指導してもらおう。(構造技術センターは今度、新幹線部門も入り、名前も変わる予定がある。)

・公的機関関係の近接工事対応があるため、紙線路閉鎖の取り扱いに関して、引き続きの勉強や支社の応援を求め、議論しました。

…

【共通】

(20項) 今施策に関連し、問題や課題が発生した場合は、原因を究明し、変更や見直しを行うこと。

(回答) 問題等が発生した場合は、状況に応じて対応することとなる。

・フォロー含めて、細かな課題などあれば、対応していく。

・来年度の計画に関しては、(P社等へJR本体としても)フォローしながら行う。

…

閑散線区の保守業務の見直しに関して、7月1日から実施されます。提案時同様、教育出向2年、実務の出向3年は議論しましたが、線路設備モニタリング、冬期体制同様、検証を行っていきたいと思いますので、職場の声を地本業務部まで寄せてください。また、不明な点は連絡を下さい。

安全・健康・働きがいのある保線職場を創り出そう！